

4・5年生必見!!!

卒業後10年目特集

2017年度から後期研修は新しい制度になります!!! これまで以上にマッチングの選択がキャリア形成の重要なポイントとなるでしょう。そこで、今回は、医師のキャリアで重要と言われる「10年目」に注目して、医局で活躍中の先輩17人にインタビューしました。初期から後期につながるキャリア形成について、先輩の言葉からヒントを見つけてください。



働き方の選択肢が豊富です

放射線科

榎園 美香子先生 (卒業10年)

後期10年間のキャリア 卒業1年目:長崎大学病院
⇒卒業2年目:長崎市立市民病院⇒卒業3年目:長崎大学病院⇒卒業4年目:広島県立病院⇒卒業5年目:長崎大学⇒卒業6～8年目:長崎大学病院(大学院)⇒卒業9～10年目:長崎大学病院

医局のメリット 放射線科は主に画像診断・IVR(interventional radiology)・放射線治療の三位一体で成り立っています。専門医資格は画像診断・IVR医もしくは放射線治療医のどちらかを取得することになります。放射線科医は地域の中核病院に勤務することが多いので、バリバリの画像診断医・IVR医あるいは

放射線治療医として第一線で活躍することもできれば、子育てしながら週2～3日働くこと、また遠隔読影のバイトをすることも出来ます。本人の希望に応じて働き方のプランが立てられます。放射線科は入局してすぐに子育てをしている女医さんでも、しっかりと専門医資格まで取得している人が多い科です。

資格 卒業6年目:PET 核医学認定医、検診マンモグラフィ読影認定医(判定AS) / 卒業7年目:放射線科診断専門医 / 卒業8年目:核医学専門医

10年後の目標 現在は神経放射線領域を主体として、画像診断全般に携わっています。複数のモダリティを組み合わせた診療が出来るのが放射線科の魅力だと思っています。CT・MRIによる形態学的診断のみならず、核医学(特に近年注目のPET)による機能的診断を組み合わせた総合的な解析をさらに勉強したいと思っています。臨床と研究を両立させるのが理想です。またお世話になっている諸先輩方や、後輩への恩返しが少しでも出来るように努力していきたいです。

メッセージ 努力してやっと医師になることができて将来への期待と不安が入り混じることと思いますが、しっかり考え悩んだ人は必ず道が開けると信じております。また、一度選んだ道も途中で変更することも可能です。人生の選択肢は一つではありません。また、医局に所属すると制約が多いと思うかもしれませんが、実際は逆で、学会発表や論文執筆の指導、海外・国内留学などの機会を与えて頂けるのは医局に所属することのメリットだと思います。興味を持たれた方はぜひ気軽にご連絡ください。一緒に頑張りましょう。

臨床研修を
行いながら、
自分の専門も追求!



脳神経外科

山口 将先生 (卒業6年)

- Q1. 後期10年(7～12年)のキャリアの概要を教えてください。
- Q2. 医局に入ってよかったことは何ですか?
- Q3. 修得した資格について教えてください。
- Q4. 10年後の目標は?
- Q5. 後輩へのメッセージ。

後期10年間のキャリア 卒業3～4年目:独立行政法人国立病院機構京都医療センター
⇒卒業5～6年目:長崎大学病院

医局のメリット 医局に入局して働いた病院は大学病院のみなので、そこでよかったこと。外病院ではいろいろな仕事に追われることによって、患者さんの病気を治療することを主に行っていました。一方、大学では

臨床研究が行われていたりすることにより、大学でしか行われなような検査などもあり、勉強になりました。また、治療に関しても外病院にはない器具などあり、それらを使用することで安全かつ正確、積極的に治療を行えるようになっていく点がいい経験になっております。教育面においても、抄読会があることにより年間で読む論文数も格段に増え、学会発表なども活発に行われており、指導が受けられる環境であることは専門医前習得の自分にとってはよいことであると思います。

資格 卒業7年目:脳神経外科専門医修得予定 / 卒業8年目:神経内視鏡認定医 修得予定 / 卒業9年目:血管内治療専門医 修得予定

10年後の目標 脳神経外科医として幅広い知識と技術を身につけ、ある程度独り立ちして診療をできるようになる。その上、後輩の指導なども行いながら臨床を行っていく。それと同時に臨床研究も行いながら、自分の専門についても追及していけたらと考えております。

メッセージ 大学医局に属することは医局に属さない人からすると自由はなく、窮屈でやりにくいのではないかと危惧があると思います。そういう面が決してないとは言えませんが、幅広い知識の修得や大学でないとできない治療などがあり、また研究などを行うことで違った視線から診療ができるようになるのではないかと考えております。

4・5年生必見!!!

卒業後10年目特集

後期10年間のキャリア 卒業1年目:佐世保市立総合病院⇒卒業2年目:長崎大学病院⇒卒業3年目:佐世保市立総合病院⇒卒業4年目:佐世保中央病院⇒卒業5～6年目:関西医科大学滝井病院 高度救命救急センター⇒卒業7～9年目:長崎大学病院 腫瘍外科大学院 救命救急センター

医局のメリット 救命救急センターは、診療科の枠にとらわれず、言いたいことも言える、まさに異国情緒あふれる長崎らしい医局の雰囲気を持っています。救急科、外科、麻酔科、脳神経外科、整形外科に入局している医師が、連携プレーをしたり、毎朝にぎやかにディスカッションしたりと、他の医局にはできない救急医療のエキスパートによるチームプレーの楽しさがあります。私も、腫瘍外科と救命救急センター、大学院生と救命医の2×2足のわらじで頑張っています。

資格 卒業3年目:日本DMAT 隊員 / 卒業5年目:NST 医師教育セミナー修了 / 卒業7年目:外科専門医、Infection Control Doctor / 卒業8年目:救急科専門医

10年後の目標 現在は大学院生で臨床研究をしています。研究をすることで、より論理的に病態を把握し、治療に繋げられるようになった気がします。大学院修了後は、臨床のスキルと知識をさらに高め、それを検証するための研究と、それを伝えるための教育を両立させたいと考えています。

メッセージ 救命救急センターでは2交代のシフト体制を取っています。診療科や興味を持っている分野がスタッフによって異なるので、学会やセミナーへの参加はもちろん、自分の趣味を高めることもできます。オンオフの切り替えがいい、数か月間全身管理を学びたい、出産後日勤帯だけ働きたい、そんな希望も叶います。「救命」は決して楽な分野ではありませんが、やりがいとドラマがあります。興味のある方は一度、ご連絡ください。



救命救急センター

泉野 浩生先生 (卒業9年)

診療科の枠を
飛び越えて

医師として
母として
日々精進

後期10年間のキャリア 卒業1年目:長崎大学病院⇒卒業2年目:佐世保市立総合病院⇒卒業3年目:産休・育休⇒卒業4年目:長崎大学病院⇒卒業5年目:産休・育休⇒卒業6年目:長崎大学病院⇒卒業7年目:産休・育休⇒卒業8～11年目:長崎大学病院

医局のメリット 私は、3年目に第1子を出産した後は、外来業務を中心に関わらせて頂いています。現在は週4日、4時間勤務という復帰医制度を利用して働いています。少しずつしか働けないことで焦りもありましたが、外来で患者さんに直接向き合うことができ、充実感があります。じっくり腰を据えての勉強時間を取ることが難しい時もありますが、カンファランスで知識をアップデートでき、またいつでも質問すると快く教えて下さる先生方に恵まれて、少しずつ血液内科医として進歩できていると感じます。

資格 卒業7年目:内科認定医

10年後の目標 血液内科医として臨床能力を高め、いつかは後輩を支えられる存在になりたいです。

メッセージ 特に女性医師は、ワークライフバランスで悩むこともあるかもしれませんが、多様な選択肢を取れるのも、医局に属しているから、医局のサポートがあつてのことだと思います。どんな選択も可能だと思います。皆さん一人ひとりが、自分の生き方をしっかりと実現して欲しいです。



血液内科(原研内科)

馬場 真紀先生 (卒業11年)

4・5年生必見!!!

卒業 10 年目特集

一生勉強!

後期 10 年間のキャリア 卒業後3年目:国立病院機構佐賀病院⇒卒業4年目:光晴会病院⇒卒業5～8年目:長崎大学病院⇒卒業9～10年目:University Hospital Zurich⇒卒業11年目:長崎大学病院

医局のメリット まず専門分野を深く学ぶことができることである。教科書や論文だけでは到底修得できない、先輩医師からの実臨床に基づいた教養をうけることができる。同じ医局ということで共通した志や一体感があり、丁寧な指導を受け



第一内科
岩本 直樹先生 (卒業 11 年)

ることができる。また、何より良かったことは、私の目標のひとつであった海外研究留学ができたことである。医局に入っていなければ、留学が現実的なこととして考えることすらできなかったように思える。留学を決めた時も、留学中やその後のことまで考慮していただき、海外留学を無事に終えることができた。

資格 卒業6年目:内科認定医

10年後の目標 医師としての具体的な目標は現在も模索中だが、臨床医、研究医として修練を忘れずに、より多くの患者様のため、疾患の究明に寄与していきたい。

メッセージ 私の専門としているリウマチ・膠原病は、全身すべての臓器障害への対応が必要とされます。また、基本的に慢性疾患であり、治療法が確立していない疾患も多く、1人の患者様と長く向き合い、じっくりとお互いで疾患に対し立ち向かう必要があります。膠原病を専門として7年目ですが、とてもやりがいを感じており、この分野を選んで正解だったと思っています。医師としての進路を決めることはとても迷うと思いますが、自分の描く理想的な医師像になるために、自分にとっての正解を選択してください。

多岐にわたる経験を積むのに最適な環境



精神神経科
橋口 知幸先生 (卒業 8 年)

後期 10 年間のキャリア 卒業1年目:佐世保総合病院⇒卒業2～4年目:長崎大学病院⇒卒業5～6年目:五島中央病院⇒卒業7年目:五島中央病院⇒長崎大学病院⇒卒業8年目:長崎大学病院

医局のメリット 精神医学は児童精神医学、老年精神医学、司法精神医学、リエゾン精神医学、精神腫瘍学など実に広範な分野に及びます。当科はこれらのほとんどを網羅しており、各々の分野に熟練した上級医より、直接丁寧な指導を受けることが可能です。

また、精神科医療においては看護師、精神保健福祉士、社会福祉士、臨床心理士など多職種でのチーム医療が不可欠ですが、当科では職種間の垣根が低く、切磋琢磨しあえる環境にあります。

資格 卒業8年目:精神保健指定医

10年後の目標 現在私は、外来診療、リエゾン診療、患者さんの心理教育などを担当しています。精神医学の知識・診療技術については、ようやく半人前になったかどうかというのが正直なところだと思っています。今後も精神医学全般に対する知識・技術に磨きをかけながら、自分の武器となりうる専門性を高めることが出来ればと考えています。

メッセージ 堅い話ばかりになりましたが、日々の診療に神経をすり減らすことも少なくない精神科では、ストレス発散・休養も大事な仕事の一部です。かくいう私も休日は楽器演奏、写真撮影、釣りなどの趣味に興じています。私たちの医局ではオンオフがしっかりしている他、アットホームな雰囲気や各医局員の希望に沿える柔軟性など若手の医師にとって非常に働きやすい環境が整っていると思います。興味がある方は是非ご連絡ください。長崎の地でより多くの仲間と働けるのを楽しみにしています。

後期 10 年間のキャリア 卒業後1～3年目:東京女子医大⇒卒業4年目:立正佼成会附属佼成会病院⇒卒業5年目:埼玉医大国際医療センター⇒卒業6～7年目:長崎大学病院⇒卒業8～9年目:長崎医療センター⇒卒業10年目:長崎大学病院

医局のメリット 我々、心臓血管外科教室は医局員数9～10名と少数ながら昨年は年間270例以上の開心術を行いました。少数の為、一人ひとりが担う役割は大きく、他施設に比べると非常に早い段階から心臓手術の修練を積むことが可能です。大動脈弁形成術、顕微鏡下冠動脈バイパス手術、顕微鏡下右小開胸僧帽弁形成術(MICS手術)などの最先端かつ超高度な技術を勉強できるのも魅力です。

資格 卒業9年目:外科専門医

10年後の目標 心臓血管外科医としての、安定した高度な技術、精神を持ち、患者に還元できればと思います。

メッセージ 忙しい事も時期的にはありますが、その分、重症の患者が自分たちの技術、判断、そしてコメディカルのサポートにより、元気になっていく姿を見るのは非常に嬉しいものです。サポート面も、医局構成年齢層が近く若いため、お互い柔軟に対応し助け合っており、公私ともに充実した生活を送れます。興味のある方は連絡を下さい。一緒に頑張りましょう。



心臓血管外科
住 瑞木先生 (卒業 10 年)

高度医療を目指して 熟練された

4・5年生必見!!!

卒業 10 年目特集

後期 10 年間のキャリア 卒業1～2年目:長崎医療センター⇒卒業3年目:長崎大学病院⇒卒業4年目:井上病院⇒卒業5年目:リバプール熱帯医学校⇒卒業6年目:タイ・ミャンマー国境難民キャンプにて医療活動⇒卒業7年目:上五島病院⇒卒業8～9年目:長崎大学病院

医局のメリット ある程度自由に進路を決める事ができ、留学(イギリス熱帯医学校)や海外(タイ違法難民 NGO)での医療活動などを行う事ができたことは、自分の夢であり、とてもいい経験になった。また、その後も大学に戻ってきて、臨床や研究を行うことができている。大学の医局であるが、医局からの命令で関連病院に行かされる事はほとんどなかった。また、医師として、人間として尊敬ができる医師が多く、臨床医としての基本的な考え、姿勢を学ぶことができた。

資格 卒業4年目:内科認定医/卒業5年目:熱帯感染症修士課程 MSc

10年後の目標 海外での研究を行いながら、日本でトップレベルの臨床、教育を行いたい。誰にも負けない専門分野を持ち、少しでも社会貢献を行える臨床医に成長していきたい。多くの人達と協力し合い、自分の理想とする臨床、教育、研究を行える人物になっていきたいです。

メッセージ 当科では、熱帯医学研究所の臨床分野であり、海外での研究活動を行いながら、日本でも臨床の精進ができる日本では珍しい科です。数年後には熱帯医学校(大学院大学)が開設され、より多くの人材が必要になります。面白いキャリア形成、面白い医師人生を送りたい人、ぜひ一度見学にお越しください。我々とともに、面白く、楽しい医師人生を歩みましょう。

グローバルな視野が身につく面白いキャリア形成ができま



感染症内科(熱研内科)
齊藤 信夫先生 (卒業 9 年)

見たことのない世界が



形成外科
塚島 順子先生 (卒業 8 年)

後期 10 年間のキャリア 卒業1年目:長崎大学病院⇒卒業2年目:北九州市立八幡病院⇒卒業3年目:長崎大学病院⇒卒業4～5年目:山口県立総合医療センター⇒卒業6年目:佐世保市立総合病院・産休⇒卒業7年目:育休・長崎大学病院⇒卒業8年目:長崎大学病院

医局のメリット 『あらゆる分野の研修が可能』…一言に形成外科といっても、頭蓋顔面、先天異常、再建、外傷…と、その分野は多岐に渡ります。当科はそのほぼ全てを網羅している数少ない医局の一つです。形成外科を開業している施設は増えてきましたが、各施設で取り扱う分野は限られています。医局に属することで、大学病院をはじめ様々な施設であらゆる症例に出会うことができます。

『働き方の選択肢がある』…私は入局4年目で出産しました。現在は週3日の勤務で仕事と家庭の両立を図っています。こういった対応が可能なのは医局の支えがあってこそです。

資格 なし **10年後の目標** 貢献できる人材になること。少子化を止めること。

メッセージ 形成外科が日頃どのような診療を行っているか具体的なイメージを持てる先生がどれ位いるのでしょうか。「きれいな傷あと」って何でしょうか。「褥瘡」ってどうしたら予防できるのでしょうか。「耳」ってどうやって作るのでしょうか。「指の再接着」って何をつなげばいいのでしょうか。是非一度覗きにきて下さい。形成外科は皆さんに新しい世界との出会いを約束します。

**Generalist から
Specialist へ。
様々な希望に対応できます**



第一外科（腫瘍外科）
高木 克典先生（卒後 11 年）

後期 10 年間のキャリア 卒後 1 年目：長崎大学病院⇒卒後 2 年目：独立行政法人長崎医療センター⇒卒後 3 年目：日本赤十字社長崎原爆病院⇒卒後 4 年目：周南記念病院⇒卒後 5 年目：佐世保市立総合病院⇒卒後 6 年目：北九州市立八幡病院⇒卒後 7 年目：長崎大学病院⇒卒後 8～10 年目：大学院⇒卒後 11 年目：長崎大学病院

医局のメリット 漠然と外科医を目指していた私にとって、呼吸器、乳腺、甲状腺、消化管、肝胆膵、

小児外科という広汎な診療科を持つ腫瘍外科は魅力的な科でした。医師になりたての若手にはどの臓器も魅力的で、専門臓器を決定することは酷ですらあります。広汎な領域全てを経験させてもらったことは私の大きな財産です。外科全般を十分経験したうえで speciality を決定するという欧米的 concept の科は貴重です。

資格 卒後 7 年目：外科専門医／卒後 10 年目：医学博士

10 年後の目標 大学院を修了した現在、研究もつづけながら、消化器の腹腔鏡手術を勉強させてもらっています。充実した毎日を過ごさせてもらっています。

鏡視下手術はデバイスの進歩なしには将来が語れません。デバイスに関する医療側のニーズを大学や企業と共同して具現化していきたいと考えています。

メッセージ 種々の臓器、癌種を扱うことで、入局後数年で全身を診ることができる医師になっていることに気付くと思います。各臓器の横断的研究も可能です。専門分野を決定している先生はいいですが、そうでない先生も、医師になりたての時期から一臓器にこだわる必要は全くないと思います。Speciality を決定している先生もそうでない先生も興味がある方はご連絡下さい。一緒に頑張りましょう。

**丁寧な指導のもと、
充実した研修ができます**



小児科
船越 康智先生（卒後 10 年）

後期 10 年間のキャリア 卒後 1～2 年目：長崎大学病院⇒卒後 3 年目：長崎市立市民病院⇒卒後 4～6 年目：長崎大学病院⇒卒後 7～8 年目：国立がんセンター中央病院⇒卒後 9～10 年目：長崎大学病院

医局のメリット 私は大学病院勤務が長く、貴重な症例を診る機会をたくさん頂きました。難しい症例を教授や各専門分野の指導医の先生方の指導を受けながら経験できるので、

とても勉強になっています。若手が活躍出来る職場でもあり、後輩も含め多くの先生方の意見を聞き、また技術を見ながら診療出来る事は本当に貴重だと思います。専門分野を決めると、その分野の指導を受ける事が出来ますし、他病院に研修にも行って、さらに経験を積む事も出来ました。

資格 卒後 5 年目：小児科専門医

10 年後の目標 まだまだ診療で力不足であることを日々感じていますので、もっと勉強し経験を積んで先輩方に近づけるよう努力していきたいと思っています。研究にももっと関わっていきたく考えています。もっと社会のお役に立てるよう頑張ります。あと、猫背と人見知り直します。

メッセージ 長崎は食事もおいしく、住みやすいところです。他県や他大学出身の先生も、来られて 1 年目であっても 10 年くらいいるようなオーラを出して働かれています。女性医師も様々な形で活躍されており、むしろ女性が強いといった方が正しいかもしれません。現在長崎大学病院小児科には第 2 次ボーリングブームが来ていますので、ボーリング好きの方もぜひ考えてみて下さい。教授の素敵なネクタイ(クリスマスは押すと音楽が流れます)も名物です。

様々なキャリアを
積むことができるのも
大学病院の魅力ね♪



卒後 10 年目特集

4・5 年生必見!!!

**どんな病院で働きたいですか？
一緒に実現していきましょう！**



消化器内科・医療教育開発センター
松島 加代子先生（卒後 11 年）

後期 10 年間のキャリア 卒後 1 年目：長崎大学病院⇒卒後 2 年目：長崎医療センター⇒卒後 3 年目：長崎大学病院⇒卒後 4～7 年目：長崎大学病院（大学院）⇒卒後 8 年目：長崎大学病院（諫早療育センター）⇒卒後 9～11 年目：長崎大学病院

医局のメリット 私個人は「入局しなければよかった」と後悔したことがないので、あえて何か挙げるのも難しいですが、何でも相談できる仲間

ができたことが一番よかったと思います。関連病院同士で相談しあって治療したり、定期的に勉強会をしたり、協力し、高め合える存在はかけがえない財産です。必要性を感じたタイミングで、短期留学や他大学とのコラボ研究ができたのも、医局に所属しているからこそ実現できたと思います。

資格 卒後 5 年目：内科認定医／卒後 7 年目：日本消化器病学会専門医／卒後 8 年目：日本消化器内視鏡学会専門医、医学博士／卒後 10 年目：日本消化器病学会九州支部評議員

10 年後の目標 臨床・研究のトランスレーショナルリサーチをやりたいです。とくに消化管内視鏡の診断・治療をより正確に低侵襲に行えるよう探求し、これは患者さんの役に立てた！と確信できる研究を実現できたら最高です。長崎大学消化器内科がますます元気でお互いを高め合う仲間であられるように、今後もがんばっていきたくと思っています。

メッセージ 私は現在医療教育開発センターに所属しているので、(長崎以外が対象でも)研修先や科を迷っているという方は、是非気軽にご相談いただければと思います。①しっかりと研修医・若手医師を守り育てる環境があるか、②よりよい病院にするために革新していく姿勢の病院かどうか、ということ意識して研修病院を見つけてください。長崎大学病院もそんな病院であると実感するので、私はその一員としてやりがいをもって働いています。

後期 10 年間のキャリア 卒後 1 年目：長崎大学病院⇒卒後 2 年目：佐世保市立総合病院⇒卒後 3 年目：佐世保共済病院⇒卒後 4 年目：聖フランシスコ病院⇒卒後 5～7 年目：長崎大学病院⇒卒後 8 年目：佐世保共済病院⇒卒後 9 年目：上五島病院⇒卒後 10～12 年目：長崎大学病院

医局のメリット 「いい仲間に出会えた」ということに尽きると思います。同期はもちろんですが、医局員や同門の先生方との結束がとても強いと思います。私は 1 年間ではありましたが離島勤務を経験しました。離島勤務中、困った症例の相談に夜中でも付き合ってくれ、緊急手術となれば、波が荒れていても急遽駆けつけてくれた先輩の先生方。泣きそうなきときはいつも助けてくれました。後輩医局員も徐々に増え、今度は私たちが、後輩のサポートをしっかりしていきたいと考えています。

資格 卒後 5 年目：泌尿器科専門医／卒後 10 年目：泌尿器科指導医
卒後 11 年目：医学博士取得

10 年後の目標 ずばり、新規薬剤や治療方法を開発することです。現在私は、神経因性膀胱や前立腺肥大症などの排尿障害や、尿失禁や骨盤臓器脱といった女性泌尿器科を専門に実地臨床および研究を行っています。少しずつではありますが研究成果も出てきており、長崎から世界へ、絶えず有用な情報を発信できる泌尿器科医でありたいと思っています。

メッセージ 長崎大学病院泌尿器科はアットホームで非常に働きやすい環境です。さらに向学の志も高く、国内外の学会や論文発表も活発に行っています。泌尿器科領域はがん・内分泌・腎不全・外科・腎移植・小児・排尿機能・婦人泌尿器・尿路感染症と多岐にわたり、決して飽きることはありません。また、女性医師も在籍し、医局員全員が all-rounder であることはもちろん、希望に沿った専門領域でも活躍することを目標に頑張っています。あなたの夢を聞かせてください。泌尿器科みんなでサポートします。

先生方の結束が強い！
一生もの仲間に出会えますよ



泌尿器科
松尾 朋博先生（卒後 12 年）

2017 年から始まる新しい専門医制度は、現在の 5 年生から対象となります。



サブスペシャリティ技能を習得するために何が必要か。充実した人脈づくりをするにはどんな環境が必要なのか。マッチングでは、後期研修まで見通した未来設計が必要と言えるでしょう。長崎大学病院ではみなさんの「10 年先まで考えたキャリア形成」を応援しています。漠然とした不安、小さな疑問、何でも大歓迎です。お気軽にご相談ください。

長崎大学病院 医療教育開発センター TEL:095-819-7847

個性豊かな仲間と共に
全国へ、そして世界へ**後期 10 年間のキャリア** 卒業1年目:長崎大学病院⇒卒業2年目:佐世保市立総合病院⇒卒業3年目:佐世保市立総合病院⇒卒業4年目:北九州市立八幡病院⇒卒業5～8年目:長崎大学病院(大学院)⇒卒業9～10年目:長崎市立市民病院⇒卒業11年目:長崎大学病院**医局のメリット** 当科は、呼吸器・感染症・腎臓内科から構成されている医局です。同期だけではなく、先輩・後輩など、幅広い仲間がいる事が一番の魅力であり、苦楽を共にする仲間がたくさん出来たのが一番良かったと思っています。特に当科では、国内留学で他大学の先生が在籍される事も多く、他大学の先生方とも親交が深まりました。関連病院の先生方とも症例検討会を行っており、また、治験や、国内外での学会発表、基礎研究など学術的な仕事も経験する事が出来ています。さらに海外留学もキャリアの選択肢としてあるという点も大きな魅力です。

第二内科

高園 貴弘先生(卒業11年)

資格 卒業5年目:内科認定医/卒業6年目:Infection control doctor/卒業8年目:感染症学会専門医、抗菌化学療法指導医、医学博士
卒業9年目:呼吸器学会専門医

10年後の目標 私は呼吸器・感染症の診療、研究に携わっています。呼吸器疾患や感染症の新たな診断法や、治療法に関するエビデンスを発信することが10年後の目標です。臨床・研究の両面で、後輩を指導する力を身につけて、多くの呼吸器・感染症専門医を育成できるようにしたい。そして、その仲間と一緒に、長崎の呼吸器・感染症医療を支えていき、全国に発信していきたい。

メッセージ 当科では、呼吸器感染症、びまん性肺疾患、肺腫瘍性疾患、アレルギーや腎臓内科のそれぞれの専門医が多数在籍しており、さらに感染症に関しては全身の感染症の院内コンサルテーションにも対応しています。色々な専門領域の勉強が出来ますし、関連病院との連携で Common Diseases も経験できます。「大学病院はきつい、堅苦しい」というイメージを抱いている方も多かもしれません。実際は、色々な個性の先生がいて、イベントも盛りだくさんで、自由な雰囲気の医局です。興味のある先生は御連絡をお待ちしております。見学だけでも、お気軽にどうぞいらしてください。

内科的思考から手術まで
幅広く!

皮膚科アレルギー科

鍛塚 さやか先生(卒業10年)

がたいです。医局に入らなければ得られないサポートだと思います。また、豊富な人脈ができることも利点です。仕事でも人生においても勉強になりますし、同門ということで顔見知りが増え、何かと相談しやすく、助けられています。

資格 卒業10年目:日本皮膚科学会認定専門医

10年後の目標 今年は念願の皮膚科専門医試験に合格できてほっとしているというのが本音ですが、これからは本番と思わないといけません。卒業10年目というすごいキャリアに聞こえますが、私は産休で休んだため、臨床経験がまだまだ未熟です。皮膚科は勉強すればするほど奥が深いと感じています。探究心を保って日々診療や勉強に努める事、サブスペシャリティを身につける事が目標です。若手医師に

長崎に残りたいと思わせるよう頑張りたいと思います。

メッセージ 皮膚外科・皮膚内科(感染症、膠原病やアレルギー疾患)・皮膚病理と、疾患が多岐に渡るのでもとやりがいがあり、オーベンに相談しながら経験を積むことができます。外科的手技が苦手な方でも外来でできる簡単な手術が身に付きますし、ちょっとした処置が多いので治療の実感が味わえます。医局の雰囲気はとて良く、色々な性格の医師がのびのび仕事をしています。ホームページや Facebook もぜひチェックしてみてください。

卒業10年目特集

4・5年生必見!!!

診療するのほかに心と身体、
その人生

総合診療科

龍田 洋一先生(卒業10年)

後期 10 年間のキャリア 卒業1年目:長崎大学病院⇒卒業2年目:諫早総合病院⇒卒業3年目:長崎大学病院⇒卒業4年目:五島中央病院⇒卒業5年目:五島中央病院/富江病院⇒卒業6年目:長崎大学病院⇒卒業7～10年目:諫早総合病院**医局のメリット** 小さな医局なのでアットホームな雰囲気であり、自分のキャリア形成の方法もオーダーメイドで希望を十分に反映させてくれました。大学病院のような大病院から、地域の中核病院となっている中病院、はたまた、こぢんまりとした小病院まで様々な分野で経験を積ませてもらいました。また、仲間であり、ある意味家族のような医局の人達との関係は、陰に日なたになって自分の医師として、そして人間としての成長を支えてくれています。

資格 卒業6年目認定内科医/卒業7年目日本プライマリ・ケア連合学会 認定家庭医療専門医/卒業9年目日本プライマリ・ケア連合学会 認定指導医/卒業10年目臨床研修指導医

10年後の目標 日本で歴史の浅い総合診療の分野においては、総合診療にたずさわる医師としてのモデルがほとんどいません。そのため、今後、総合診療の分野に進んでくれる人達の参考となれるような総合診療の医師として、そして何より人間として、より高みを目指し日々精進し続けていきたいです。

メッセージ 各科専門領域がありますが、当科が専門に扱う領域は、ずばり“人間そのもの”です。そのため、治療に関しては、同じような病態であっても一人ひとりやり方が異なるオーダーメイドの治療になり、正直しんどい事もあります。しかし、患者さん一人ひとりに寄り添って医療を行っていく事に楽しみや喜びを見いだせる人にとっては、うってつけの診療科だと思います。総合診療や家庭医療に興味・関心がある方、是非一緒にやりましょう。

後期 10 年間のキャリア 卒業1～2年目:長崎市立市民病院⇒卒業3年目:長崎大学病院⇒卒業4年目:長崎大学病院・育休⇒卒業5～6年目:北九州市立八幡病院⇒卒業7年目:長崎原爆病院⇒卒業8年目:長崎大学病院**医局のメリット** 整形外科というと体育会系の男性ばかりが集まっていますが、女性に少し敬遠されがちな印象がありますが、決して女性に不向きな職場ではありません。手術も力仕事ばかりではありませんし、女性患者さんの割合も多く喜んで頂ける機会も多々あります。また、私は入局2年目に出産をしましたが、妊娠中から仕事内容や勤務時間など柔軟に対応していただき、復帰後も希望を細かく聞いていただきました。女性の少ない医局ですが、女性として働きやすい医局です。希望に応じていろいろな働き方が選択できます。医局に支えられ、仕事と育児が出来る毎日に幸せを感じています。

資格 卒業7年目:整形外科専門医

10年後の目標 復帰後の目標だった専門医を昨年取得できました。今後は、「子供をもう一人は欲しい。医療から遠ざからずにスキルアップしていく」が当面の目標です。10年後には長崎の整形外科医局を女性でいっぱいになりたいです。

メッセージ 日本は平均寿命が世界トップレベルの長寿大国ですが、元気で長生きできる健康寿命を延ばすことは大事な課題です。運動器はこの健康寿命に大きく関与しており、整形外科は人生を豊かに過ごすためにとても重要な分野だと感じています。患者さんが元気になるのを目に見えて実感する機会も多く、やりがいがあります。興味のある方、是非一緒に働きましょう。そして、女性だから…とためらいのある方がいたら、諦めないでください。長崎大学病院整形外科は家庭・子育てと仕事の両立を望む女性医師を応援しています。



整形外科

黒木 綾子先生(卒業8年)

ママでも出来ます!
体育会系じゃないかも
やれます!